

木造兜跋毘沙門天(もくぞうとばつびしゃもんてん)



総高196.5cm
像高172.5cm



総高184.7cm
像高158.3cm



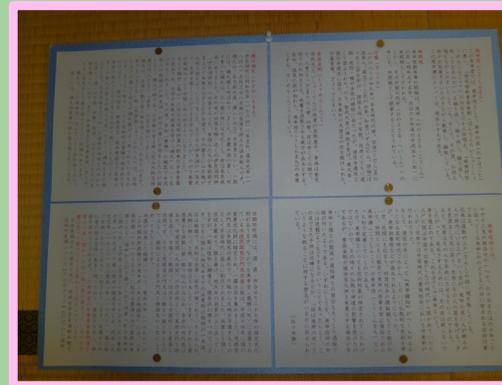
木造兜跋毘沙門天がまつられている建物です。



建物の裏には、役行者(えんのぎょうじゃ)様の石仏があります。役行者様は、山の神様です。ぜひ、見てください。



国指定重要文化財



「庚申信仰」(こうしんしんこう)
庚申信仰とは、60日ごとにめぐってくる、庚申(かのえざる)の日に営まれる信仰行事である。元来は、道教の三尸(さんし)という虫が庚申の夜に人が眠るのを見澄まして天に昇り、天帝にその人の罪を告げる。すると、*天帝は、その人を早死にさせるという伝説から人々に広まった!

この2躯の兜跋毘沙門天は、平安時代前期に作られたものです。美術的にも、価値が高いといわれています。この、木造兜跋毘沙門天立像が、国指定重要文化財に指定されたのは、平成14年6月16日です。

*天帝
天にいる、神のこと

建物の中です。

